

募金のお願い

八千代市は、昭和32年に日本で初めての戸建て庭付きの本格的な住宅団地として八千代台住宅団地が造成されたのを機に、以後、勝田台、米本、高津、村上地区と相次いで大規模な住宅団地が開発され、現在も東葉高速鉄道線建設に伴う開発が進み、首都近郊都市としてますます発展しようとしています。

しかしながらその一方では、私たちの祖先が培った貴重なふるさとの緑は年々失われつつあります。

私たちの市民生活にとってかけがえのない「緑」を守り育てることは、全ての市民と行政が一体になって長い年月と地道な努力を積み重ねてこそ実現できるものです。

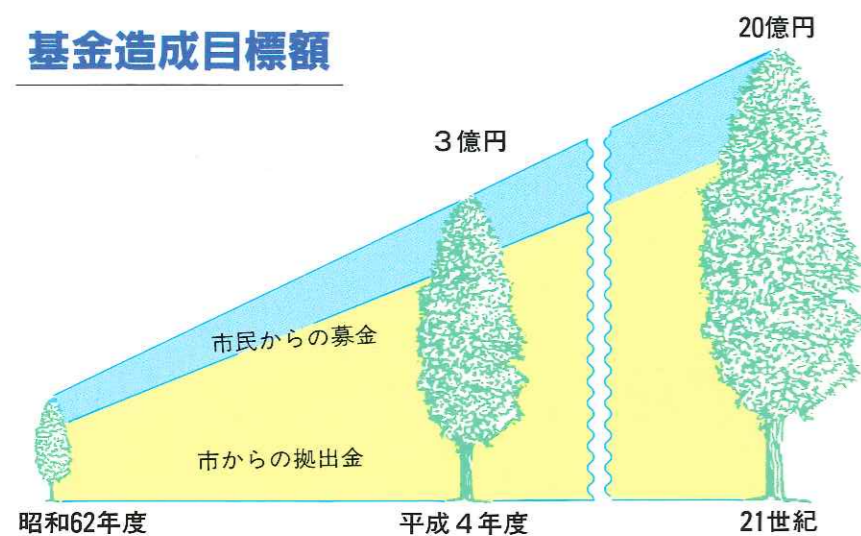
そのため八千代市は、市制施行20周年を迎えたのを機に、昭和62年5月、市民と行政とが一体になり八千代市を「緑の都市」とすることを宣言しました。そして同時に、その実現のための推進母体として「財団法人八千代花と緑の基金」を設立しました。

この花と緑の基金は、長期的には20億円を目標に積み立てる予定で、その基本財産から生じる果実(利子)を運用し、市民が行う緑化事業に対する助成金交付、樹木の植栽、緑化の啓蒙、緑化団体の育成や援助などを通じ民有地の緑化を推進する事業を行う公益法人です。

この花と緑の基金の趣旨をご理解いただき、基金の積み立てにぜひともご協力くださるようお願いいたします。

財団法人八千代花と緑の基金
理事長 芳野彰夫

基金造成目標額



21世紀に向かって

育てよう花と緑と文化の八千代



財団法人 八千代花と緑の基金

〒276 千葉県八千代市大和田新田312-5 (市役所内) ☎0474(83)1151/(86)3416(直通)

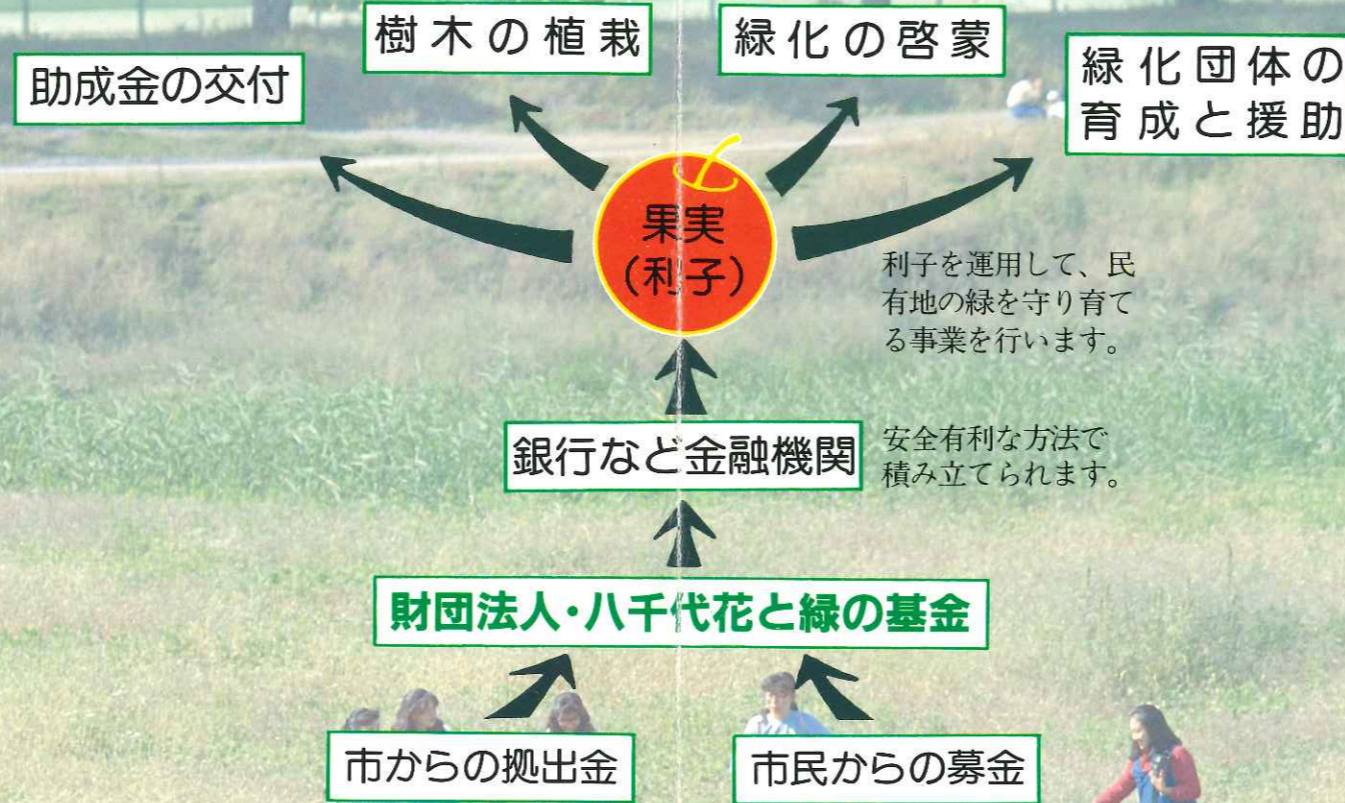
緑は、私たちの生活にとってかけがえない大切な財産。空気の浄化や気候の緩和など緑自体がもたらす働きのほか、人の心を落ち着かせ安らぎや潤いを与えてくれ、都市景観の面でも重要な役割を担うなど計り知れない働きがあります。

八千代市は、首都近郊都市として宅地開発が進み年々緑が減少してきたとはいえ、幸いにしてまだまだ緑が多く自然環境に恵まれています。この「自然環境の良さ」が八千代市の魅力であり宝です。

しかし、祖先が培ったこの貴重なふるさとの自然環境も、放っておけば緑が失われ自然は破壊されてしまいます。貴重な緑を守り、私たち一人一人が身近な緑を増やしていかなければなりません。緑に囲まれた健康的で快適な新しいふるさとの生活環境を作り上げ、人が住むにふさわしい「調和のとれた人間都市」を建設することは市民共通の願いでしょう。

その願いを実現するため八千代市は、昭和62年1月の市制施行20周年を契機に5月に「緑の都市」を宣言し、推進母体としての「財団法人八千代花と緑の基金」を同年5月19日に設立しました。

花と緑の基金のしくみ



利子を運用して、民有地の緑を守り育てる事業を行います。

安全有利な方法で積み立てられます。

助成金の交付

市民が行う、緑の保全のための維持管理事業や、緑を増やすための樹木の植栽事業に対し、助成金を交付します。

樹木の植栽

公益性の高い民有地や公共空き地樹木を植栽したり、フラワー・ポットを設置したりします。

緑化の啓蒙

パンフレットなどによる緑化のPRや苗木の配布、緑化講習会、緑化行事などを実施し、緑化の啓蒙を図ります。

緑化団体の育成と援助

花と緑のサークルや緑化関係団体を育成し、その活動を援助します。